

【令和3年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい道具や材料を使った活動に意欲的に取り組み、楽しみながら描いたり表したりできる児童が多い。 ・自他の考えや表し方の違いを感じ取り、伝え合うことに積極的な児童が多い。 ・学年が上がるにつれて、表現することや自分の考えを言葉にすることに抵抗のある児童もいる。 ・全体に説明した内容が他の児童と同じように理解できない、手先が不器用で道具を思うように扱えないなど、個別の支援が必要な児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面では、道具の使い方や素材の特徴について、丁寧に一つ一つ確認や復習をする必要がある。 ・思いを広げるために、どう考えて広げたり深めたりしていけば良いのか習得させる必要がある。そのために、児童間で考えを交流させる場を積極的に設けるとともに、細かい指導を行う必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><u>◇意欲的に取り組む力を伸ばす。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な領域の題材をバランスよく取り組めるように年間計画を立てる。さらに、各領域が発達段階に合わせて段階的に取り組めるよう工夫することで、学習への意欲に繋げる。 <p><u>◇表現する力を伸ばし、言語活動の充実を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと考えたこと等を言葉で伝え合う時間を積極的に設けることで、自他の思いや違いを知り表現に繋げる。 ・発想が広がりにくい児童には、クラス全体でアイデアを出し合う等、低学年の頃からアイデアを出し合うことに親しませる。 <p><u>◇資料提示や掲示物を充実させ、感性を豊かにする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方や素材の特徴について、情報機器を活用し視覚的に伝わりやすいように、話をする。 ・説明後に振り返りができるよう板書を計画的に行う。